

芝信用金庫の環境への取組みについて

当金庫では、2008年に環境問題への取組み推進のためのプロジェクト・チームを設置しクールビズ・ウォームビズの推進など環境に関する啓発活動を行ってまいりました。

2021年にSDGs宣言を行っており、現在はSDGsの取組みの一環として、環境問題に対する取組みを行っております。

【クールビズ・ウォームビズの実施】

クールビズを5月から10月まで、ウォームビズを11月から4月まで実施しております。

その期間は営業店と本部の室温を、それぞれ夏季28度、冬季20度を目安に、お客さまの要望などを踏まえながら調節することで、消費電力の削減に努めております。

また2024年4月から服装基準を見直し、通年ノーネクタイの導入や、気候や気温に合わせてベストやカーディガン、セーターを個々の判断で着用できることとしており、職員が快適に過ごしながら、無理なくエネルギーの削減に貢献できるような職場環境づくりを行っております。



【創立100周年記念「しばしん みどりの定期預金」の取り扱い】

当金庫の創立100周年事業活動の一環として、2024年5月より取り扱っております。この定期預金は預入残高の0.01%相当額を東京都ならびに神奈川県において環境保全活動を行っている各団体に、当金庫がお客さまに代わり活動資金を寄付させていただく、寄付型の定期預金です。

当金庫でお客さまの大切なご預金を、安全かつ安定的に運用していただくとともに、環境保全活動を通じた“SDGsへの取組み”の一翼を担っていただけるよう、本商品をご案内させていただいております。

※ 募集期間は2026年（令和8年）3月31日、発売総額は400億円となっておりますが、金融情勢の変化等により、予告なくお取扱内容を変更、またはお取扱いを中止することがございます。詳細については、当金庫のホームページを参照してください。

(<http://www.shibashin.jp/tameru/midori/>)



【環境に配慮した業務への見直しの推進】

○ 業務の効率化（DX化）の推進

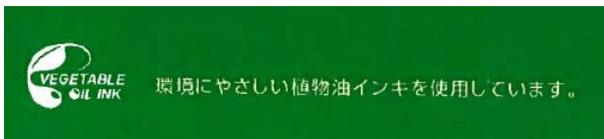
業務の効率化（DX化）のため、融資審査における電子稟議システムの導入や窓口支援システムを導入しており、併せて業務の本部集中化を進めております。またワークフローシステムの利用による本部稟議の電子化や会議のペーパーレス化なども進めております。

これにより、金庫全体で紙媒体の利用機会が減少し、営業店と本部間における書類の交換を行うメール便の運行本数も減少しました。

結果的に、紙資源の使用量削減やガソリンの消費量削減に貢献しております。

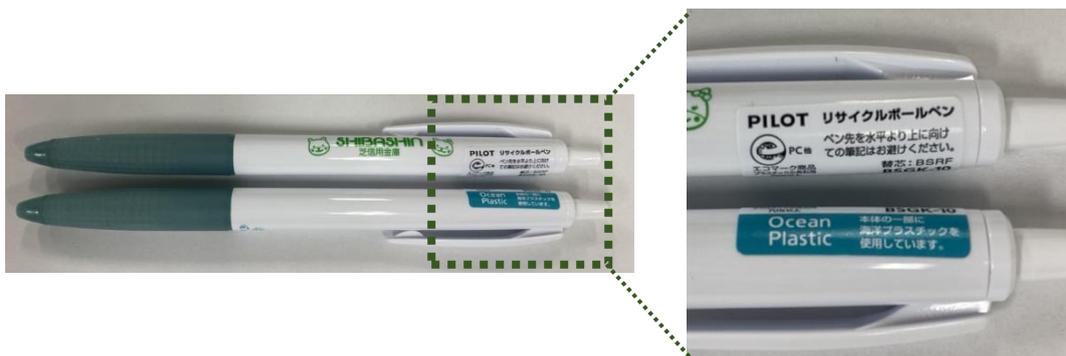
○ 環境に配慮した証書カバーの導入

お客さまにお渡しする預金証書を保護する証書カバーを、従来のプラスチック製から紙製に切り替えました。また当金庫では、印刷物の一部は植物性インキを使用して印刷されておりますが、この証書カバーの印字についても植物油を使用しており、環境負荷の軽減に努めております。



○ 環境に配慮したノベルティの採用

当金庫をご利用いただいたお客さまにお渡しするノベルティについて、SDGs に考慮した商品の採用を推進しており、その中には、環境負荷が少ない素材を使用した手提げ袋や事務用品などがございます。（以下は海洋プラスチックを使用したリサイクルボールペンです。）



【環境に配慮した店舗の導入】

一部店舗では、建替えを行った際に太陽光発電設備を設置しました。発電量は、一店舗分の昼間の電力消費量を賄える程ではありませんが、発電量分かるディスプレイ表示装置が ATM コーナーに設置されており、再生可能エネルギーによる環境への貢献を可視化する取組みによって、環境問題への啓発を行っております。

